

機械器具(51)医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 眼科用灌流・吸引チューブ JMDN コード:70339000

販売名:モリア ACP チューブセット

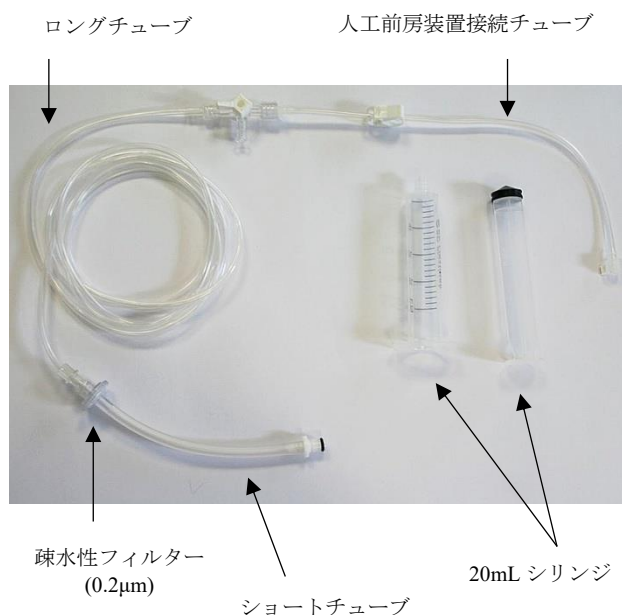
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 1) 本品は1回限りの使用とし、再滅菌、再使用を行わないこと。
〔滅菌の効果が消失し、感染症を招く恐れがある。〕
- 2) 本品は、Moria 社製品以外とは使用しないこと。
〔医療機器の構造上、支障が生じる可能性がある。〕

【形状、構造及び原理等】

- ・形状及び各部の名称



- ・ショートチューブ(長さ=130mm)
- ・ロングチューブ(長さ=2,200mm)
- ・人工前房装置接続チューブ(長さ=280mm)

原理: 移植用角膜片を作製する際、人工前房装置(届出対象外)及び人工前房装置用加圧装置(届出対象外)に接続し、持続的に装置内圧を維持する。

【使用目的又は効果】

移植用角膜片を作製する際、人工前房装置(届出対象外)及び人工前房装置用加圧装置(届出対象外)に接続し、生理食塩液または適当な眼灌流液を注入することにより持続的に装置内圧を維持するために用いる。

【使用方法等】

1. 本品は、滅菌済みのディスポーザブル製品であるため、1 回限りの使用で再使用できない。
2. 本品を「ALTK 人工前房装置」(届出対象外)又は「SU 人工前房装置」(届出対象外) (以下、「人工前房装置」という)及び「人工前房装置用加圧装置」(届出対象外)に接続し、それぞれの「人工前房装置」の移植用角膜片作製手順に従って操作を行う。以下に、本品の接続及び使用例を示す。

人工前房装置用加圧装置
(届出対象外)

人工前房装置
(届出対象外)



- ① セッティング
本品を「人工前房装置」及び「人工前房装置用加圧装置」に接続する。
- ② ドナー角膜片を「人工前房装置」にのせる
・生理食塩液または角膜保存溶液を 20mL シリンジに充填する。
・三方活栓に 20mL シリンジを接続する。
・三方活栓の 20mL シリンジ及び「人工前房装置」側がオープンになっている事を確認して溶液を「人工前房装置」に注入する。
・「人工前房装置」にドナー角膜片をのせる。
- ③ 圧力をかける
・「人工前房装置用加圧装置」により圧力をかける。
- ④ 使用モード
<オープンシステム>
・操作を行う前に「人工前房装置用加圧装置」の圧力の表示を確認する。
・三方活栓をシリンジ側がクローズされ「人工前房装置用加圧装置」及び「人工前房装置」側の両方がオープンになるように設定する。
・圧力は、「人工前房装置」に「人工前房装置用加圧装置」から直接かけられる。
・操作の準備が完了。

<クローズシステム>

- ・操作を行う前に「人工前房装置用加圧装置」の圧力の表示を確認する。
 - ・三方活栓をシリンジ側がクローズされ「人工前房装置用加圧装置」及び「人工前房装置」側の両方がオープンになるように設定する。
 - ・圧力は、「人工前房装置」に「人工前房装置用加圧装置」から直接かけられる。
 - ・三方活栓を「人工前房装置」側がクローズされ「人工前房装置用加圧装置」及びシリンジ側の両方がオープンになるように設定する。
- ⑤ 「ALTK 人工前房装置」又は「SU 人工前房装置」それぞれの手順に従って“移植用角膜片作製”を行う。
 - ⑥ 本品を「人工前房装置用加圧装置」から取り外す。
 - ⑦ 「人工前房装置用加圧装置」の電源を「OFF」にする。
 - ⑧ 本品は滅菌済みディスポーザブル製品であるため、使用後は適切な処理を施した後廃棄する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

- ・使用する前に「人工前房装置用加圧装置」の取扱説明書を読み、安全に関する注意事項及び使用方法について十分に理解すること。
- ・本製品は滅菌済みのため、手術直前まで開封しないこと。

****【保管方法及び有効期間等】**

1. 貯蔵・保管
高温、多湿、直射日光、水濡れを避けて保管すること。
2. 使用の期限
包装の使用期限の欄に表示。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者 : 株式会社モリア・ジャパン
住 所 : 〒101-0041
東京都千代田区神田須田町 1-12-3
アルカディアビル
電 話 番 号 : 03-6260-8309
F A X 番 号 : 03-6260-8310

外国製造業者 : モリア エス エー (フランス)
Moria SA (FRANCE)

取扱説明書を必ずご参照下さい。